

「ディスカバー農山漁村の宝」第 8 回選定
グランプリ、優秀賞及び特別賞の選定（案）

令和 3 年 1 1 月

「ディスカバー農山漁村の宝」 (第8回選定) グランプリ、優秀賞及び特別賞 (案)

グランプリ

一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会 (三重県津市)

コミュニティ部門

- ・農業ジョブトレーナーを養成し、福祉事業所や農業経営体をサポートすることで、農福連携を推進。
- ・農業経営者と就農を希望する障がい者・家族の双方に関わり、障がい者を支援・指導する「農業ジョブトレーナー」養成講座を実施し、令和2年度末でのべ396人を養成。
- ・障がい者就農人数は、540人 (平成28年度) から650人 (令和3年度) に増加。



優秀賞

コミュニティ部門

グループ農夫の会 (山形県山辺町)

- ・農作業体験や、モンテディオ山形等と連携したイベント活動、棚田米の販売など、地域内外の協力により、棚田再生と地域活性化に向けて活動。
- ・棚田再生面積は、0.4ha (平成23年度) から2.6ha (令和2年度) まで拡大。会員数も101名まで増加。



優秀賞

ビジネス部門

株式会社ELEZO社 (北海道豊頃町)

- ・企業として国内で初めてハンターを雇用し、ジビエの狩猟から生産・流通・加工まで自社で一貫して実施。
- ・エゾシカの搬入実績は、500頭 (平成28年度) から1,000頭 (令和元年度) に増加。自社レストラン等の顧客数も4,200人から17,300人に増加。



優秀賞

個人部門

植田 輝義 (岡山県岡山市)

- ・地元特産の黄二ラと岡山パクチー大使として、メディアや祭への積極参加を通じ、産地をPRするとともに、学校、福祉、企業とも連携。
- ・黄二ラと岡山パクチーの売上は、1,380万円 (平成28年度) から2,050万円 (令和2年度) に増加。



優秀賞

神山しずくプロジェクト (徳島県神山町)

- ・山林課題の啓発活動、町産材を活用した商品開発・販売など、地元産業振興により地域活性化に貢献。
- ・会員関連団体の雇用者9名全員が町内に定住。地域おこし協力隊を受け入れた事業も展開しており、移住促進に貢献。



優秀賞

一夜城ヨロイツカファーム・マルシェ部会 (神奈川県小田原市)

- ・有名パティシエと連携し、荒廃農地を再生するとともに誘客拠点の運営、直売所の経営により、会員の所得向上に貢献。
- ・客単価のアップを図ることでコロナによる販売額の減少を食い止め、年間3,000万円程度の売上を確保。



グランプリ、優秀賞及び特別賞選定に係る有識者懇談会委員の主なコメント

グランプリ

一般社団法人三重県障がい者 就農促進協議会 (三重県津市)

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・ ジョブトレーナーを育成し、新たな専門家が自信を持って活躍している。
- ・ 農業経営体、障がい者双方の不安を払拭する人材を育成し、福祉事業者の農業参入実績を増加させている点を評価。
- ・ 支援者を制度化し、農福連携を仕組み化してここまでの実績をあげたことはすごい。

優秀賞 (コミュニティ部門)

神山しずくプロジェクト かみやまちょう (徳島県神山町)

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・ 関わる人を増やし、さらに工夫して成長を続けている点が素晴らしい。
- ・ 町役場、サテライト企業、公社の3者が連携し、加工品製造、飲食店、教育等、幅広い事業を実施している点を評価。
- ・ スギ材活用は喫緊の課題。解決例として評価。

優秀賞 (コミュニティ部門)

グループのうぶ農夫の会 やまのべまち (山形県山辺町)

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・ プロサッカーチーム等と協力して棚田に注目を集めることで、棚田の保全、拡大を図っている点が評価できる。
- ・ 棚田の維持法としてはユニークな発想が見事。

優秀賞 (ビジネス部門)

株式会社ELEZO社 エレゾ とよころちょう (北海道豊頃町)

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・ 会社の理念が社員に理解され、ハンターから商品、サービスまで一貫したフードチェーンが形成され、顧客層からも評価。
- ・ 食や料理人の観点で狩猟や家畜・家さんの生産を手がけ、命を最大限に生かし一切の無駄が生まれぬように取り組んでいる点を評価。
- ・ ジビエは美食という新たな価値観を創出。
- ・ 他の地域にも広がってほしい模範的な事例。

優秀賞 (ビジネス部門)

一夜城ヨロイツカファーム・マル シエ部会 (神奈川県小田原市)

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・ 耕作放棄地と有名パティシエという組み合わせが新鮮な驚きを与えるアイデアであり、新たな価値を創出。
- ・ 有名パティシエと連携し、耕作放棄地を再生し集客を図り、生産者の所得向上につなげている点を評価。
- ・ 同様の連携が他の地域でも展開してほしい素晴らしいモデル。

優秀賞 (個人部門)

植田 輝義 うえだ てるよし (岡山県岡山市)

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・ 楽しみながら商品をPRし、話題を呼んでいる。パワーと勢いで人と人をつなぎ、地域のコミュニティを作り、盛り上げている。
- ・ 学校等との連携も行い売上を伸ばしつつある点を評価。
- ・ プロデューサーの才能が開花。
- ・ 産地商品のブランド化の事例。受賞歴が少ないが、もっと評価されるべき。

特別賞

かんきょうたいせん

環境大善株式会社
(北海道北見市)

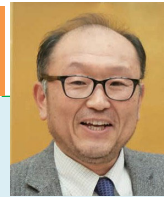
- 牛の尿を発酵・培養した「善玉活性水」を用い消臭液、土壌改良材等の商品開発・製造販売を実施。



【今村委員のコメント】

- 「善玉活性水」というネーミングや「牛の尿は農業を救う」というコピーが素晴らしい。

ナイスネーミング賞
(今村委員推薦)



特別賞

食文化にエール賞
(向笠委員推薦)

北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」
(北海道北広島市)

- 地元商工会や農業者等が連携し、赤毛米の復活栽培、加工品の企画、開発等により、市民の誇りと地域活性化に貢献。



【向笠委員のコメント】

- ゆめぴりか、ななつぼしなど北海道米のおいしさが知られつつある今、原点の赤毛米の復活は地域にとって意義が大きく、また稲作発展の証しにもなる。



特別賞

日本が誇る美景观賞
(織作委員推薦)

株式会社ワカヤマファーム
(栃木県宇都宮市)

- タケノコ、竹、栗の栽培のほか、竹林を観光資源やロケ地としても利用。



【織作委員のコメント】

- SNSを活用し4万人が来場。風景としても美しい。ビジュアルだけではなく、竹材は素材としての可能性を持っている。



特別賞

農泊賞
(藤井委員推薦)

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会
(長野県佐久市)

- 酒蔵に「蔵人」として宿泊し、本格的な日本酒製造工程を体験できる滞在型体験プログラムを提供する世界初の酒蔵ホテルとしてインバウンドを誘致。



【藤井委員のコメント】

- 他の事例と比べても、実績は短いが高規性が高いのが評価できる。今後の酒蔵の観光のモデルにもなりえる。



特別賞

食ブランド賞
(三國委員推薦)



お茶の通販・京都おぶぶ茶苑合同会社
(京都府和束町)

- ・農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄茶園が課題の宇治茶生産地において、日本茶の通信販売や輸出のほか、オンライン教育部門にも参入。



【三國委員のコメント】

- ・世界各国の農薬基準を満たす栽培管理方法を徹底し、116カ国への直送可能な体制を構築した点、また、茶畑オーナー制度を開始する等新たな取組も行っている点が評価できる。

特別賞

空中に輝く新林賞
(横石委員推薦)



空中の村
(奈良県十津川村)

- ・森林を活用したアウトドア施設の管理、運営を行い、村の新たなツーリズムの拠点施設として誘客を推進。



【横石委員のコメント】

- ・森林の多面的機能をうまく活用しているところが評価できる。

特別賞

ブランディング確立特別賞
(林座長推薦)



那須 誠
(和歌山県田辺市)

- ・果皮が紫色の大梅品種を自らが旗振り役になってブランド化、PR活動を実施。



【林座長のコメント】

- ・紫宝梅『ミスなでしこ®』のブランディング確立を目指して種々の試みを行っており、企業との連携も優れている。

特別賞

農と地域づくり賞
(永島委員推薦)



株式会社敷信村農吉
(広島県庄原市)

- ・里山の自然を活かした保育所の運営を軸に、農産物やチーズの製造、販売等の地域密着型の事業を展開。



【永島委員のコメント】

- ・近隣都市の百貨店や飲食店に野菜の販売・卸を行い、農家所得向上、地域内交流の活性化につながっている点が評価できる。

「ディスカバー農山漁村の宝」 (第8回選定) 特別賞と有識者懇談会委員のコメントについて ③

特別賞

くろかわ しんたろう

黒川 真太郎 (徳島県阿南市)

- ・ 農業・食品加工・販売の3本柱の小さな6次産業を実践するとともに、子育て環境の充実として学童保育を運営。



【あん委員のコメント】

- ・ 環境保全型農業により付加価値のある米づくりを実現し、耕作面積を増加させている点を評価。

サステナブル賞 (あん委員推薦)



特別賞

先端発信賞 (田中委員推薦)



愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」 (愛媛県伊方町)

- ・ 地域の特産物を活用したカフェを展開するほか、開発した「だいだい」マーマレードが金賞を受賞。



【田中委員のコメント】

- ・ 若い感性で生き生きと楽しい情報発信を行い、地域に明るい空気と話題を創出している。

有識者懇談会委員

あん・まくどなるど	上智大学大学院教授、慶應義塾大学特任教授
今村 司	(株)読売巨人軍代表取締役社長
織作 峰子	大阪芸術大学教授、写真家
田中 里沙	事業構想大学院大学学長、(株)宣伝会議取締役
永島 敏行	俳優、(有)青空市場 代表取締役
林 良博 (座長)	国立科学博物館顧問、東京大学名誉教授
藤井 大介	(株)大田原ツーリズム代表取締役社長、(株)ファーム・アンド・ファーム・カンパニー代表取締役社長
三國 清三	ホテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
向笠 千恵子	フードジャーナリスト、食文化研究家、郷土料理伝承学校校長
横石 知二	(株)いどころ 代表取締役社長

(五十音順、敬称略)